

# 広島県庄原市・豪雨による災害判読図

2010年7月16日夕方から、広島県庄原市で記録的な集中豪雨があり、庄原市にある雨量計では同日17時40分までの1時間に観測史上最大となる64ミリの降雨を記録し、河川の氾濫や土石流が相次いで発生しました。

住宅が土砂に流されるなど、建物17棟が全半壊し、1人が安否不明となっています(7月20日現在)。また、道路の寸断により、一時300人を超える住民が孤立しました。

## 凡例

- 砂防堰堤
- 崩壊地
- 流送区間
- 流木の堆積範囲
- 土砂の堆積範囲

※ この災害状況図は7月23日に撮影した航空写真を使用し、被害の大きな地域について図示したものです。したがって、全ての被害状況を網羅しているものではありません。  
※ 背景は2009年4月撮影の空中写真(オルソフォト)です。

株式会社パスコ  
2010.08.06

